



私たち、県内で働く同じ仲間として手をつなぎ、子どもが夢や希望をもてる学校園づくり、教職員が退職までいきいきと働き続けることができるところの通りあう協用教職員等のほとんどの組合方が加入している組合です。



兵庫県教職員組合(略称・兵教組)は1947年7月10日に結成され、今年で78年を迎えます。小・中学校・中等教育学校・義務教育学校および一部の幼稚園・こども園を含め兵庫県内7地区29地域組合・約1,100分会(学校園の教員・養護教員・学校事務職員・栄養教員・臨時の任用教職員等のほとんどの組合)が加入している組合です。

力・協働の職場づくりをめざしています。また、1947年の結成以来教職員の生活と労働条件の改善とともに、子どもの教育の充実を運動の中心課題に位置付け、保護者や地域とともに歩むという願いをもつて活動してきました。今後も、兵庫の教職員にとってなくてはならない大切な組織であり続けたいのです。皆さんのがんばりましょう!

兵教組・県職労 人事委員長へ申し入れを実施!



3月12日、兵教組は2025春闘期のとりくみとして、県職労とともに「2025年度兵庫県人事委員会勧告に対する申し入れ」をおこなった。冒頭、土取県職労中央執行委員長より県人委員会へ申し入れ書を手交するとともに、県職労より今回の申し入れの趣旨説明がおこなわれた。

引き続き、松浦書記長より学校現場の実態をふまえ、①賃金水準の大幅な引き上げと中高齢層職員の士気確保、②再任用職員の給与水準、③長時間労働の是正、④休暇・休業制度全般の拡充について趣旨説明をおこなった。

人事委員長は、「今年の春闘について、労働者側は賃上げの流れを定着させるとともに、企業規模による格差の是正につなげるため、全体では昨年並みの5%以上、中小企業には6%以上定着させる方向性は一致し経団連は、賃上げをもとめている」と述べた。

この調査結果をもとに、国や他の都道府県の状況もふまえ、本日の申し入れをはじめとする皆様方のご意見も伺いながら、中立かつ公正な第三者機関として、

例会において、管理職手当における給与抑制措置について、17年ぶりに解消する議案が上程されている。昨年の報告事項「お

※詳細は
闘争速報No.9
を参照

子どもたちのために
ともにがんばりましょう!



発行所 神戸市中央区中山手通4丁目10-8
兵庫県教職員組合
発行人 兵庫県教職員組合
代表者 森戸 卓也
編集人 松浦 明日香
電話 050(3538)2346
1部15円 年定価360円
(組合員の購読料は組合費の中に含む)

2025/4/1

No.2114

「ひょうご」2024 子どもの詩と
『ひょうご』第45集 表彰式・発刊集会



速報等がすぐに届く!
スマホで見られる!



皆さん、LINEの登録
友だちへの紹介
お願いします!

友だちへの紹介の手順

①「兵庫県教職員組合」の
トーク画面下「メニュー」
の右下をクリック!



②送信する友だちを選択!
右側にチェックし、「転送」を
クリック!※複数選択OK!



25年度 兵教組執行部体制



兵庫教育文化研究所



尾城 敏弘
兵庫教育文化研究所
障害児教育部



改發 知弥
総務部
幼児教育部



生嶋 由佳
総務・財政部
臨時採用教職員部



近藤 和浩
組織部
事務職員部



菊山 薫巴
教文・教財・法政部
養護教員部



松井 孝太
財政部
栄養教員部



笹 圭佑
対応部
女性部・兵退教協



岡本 将
生活・広報・情報管理部
青年部



秋岡 広之
教育研究専門委員
事務局長
(川西川辺教組)



竹内 俊喜
教育研究専門委員
事務局次長
(南あわじ教組)



藤井 司郎
教育研究専門委員
副所長
(宍粟市教組)



西嶋 保子
教育研究専門委員
副所長
(三田市教組)



詩の表彰・朗読

★本紙では、入選した詩や絵の一部を紹介します。また今後、教育ひょうごやさまざまな発刊物で、子どもたちの作品を掲載していきます。



「ひょうご2024 こどもの詩と絵」第45集 表彰式・発刊集会

3月1日、ラッセホールで
『ひょうご2024 こどもの
詩と絵』第45集 表彰式・
発刊集会を開催し、子ども、
保護者等、約100人が参
加した。

太子町立太田小学校 5年 小川 陽生



「空高くとぶトビハゼ」

淡路市立学習小学校 4年 上田 泰誠



ひょうご芸術文化セン
ター・兵庫教育文化研究所
は、兵教組教育文化・社会
貢献事業の一環として、県
内各地域の小・中学生によ
る作品集『こどもの詩と絵』
の編集に継続してとりく
み、今回で45集を迎えた。
作品集には詩498編
1,693点の応募総数
の内、入選した詩118編
221点が掲載されてい
る。子どもが普段の生活や体
験の中から、自分が見たこ
と、感じたこと、考えたこ
となどを「詩や絵」を通し
て表現した作品は、私たち
にほのぼのとした温かさを
与えてくれる。この本が、
学校や家庭で読み、語られ、
元気や癒し、励ましを与える
ものとなることを期待す
(頒価 500円)

おはよう、こんにちは、こんばんは
ごめんね、ありがとう
あいさつは、いろいろある
今日もがんばるぞと気合いが入る
元気に朝のあいさつをする
あいさつがかえつてくる
相手に、ぼくのことを分かつてもらえた
気がした
心が通っているんだな
人と人はこうしてつながっていくんだな
ありがとうございます
言つた人も言われた人もしあわせになる
あいさつすることを
はずかしがる人もいる
でもあいさつにはいいとこがいっぱい
あいさつを広げよう
友だちがいっぱいになる
今日も元気にぼくからあいさつをしよう



入選者を代表して表彰式に
参加した子どもたち



「はるがきた」

神河町立神崎小学校 2年 柳 帆栞

毎日変わらない景色、変わらない人々。
刺激も一切無く、毎日毎日退屈だ。
そう思っていたある日
道端に小さな草を見つけた。
毎日通る時、注視してみると
昨日と何が変わってる。
それから毎日、その草を見てみた。
そうするとやはり
昨日と何かが変わってる。
世界は変わっていないように見えても
どこかが必ず変わってる。
小さくても、必ず。
僕も、毎日毎日
草のように少しずつだけど
変わつていつてるんだ、必ず。
そして、いつかは花を咲かす。
僕の才能もいつか開花するのだろうか。

南あわじ市・洲本市組合立広田中学校
久保圭馬 2年

わたしのクラスはみんなで十五にん
たいいくんににゅうじょうすると
おおきなはくしゅをしてくれたよ
じぶんできめたみずいろの
かわいいアリエルのランドセルをせおつて
わくわくドキドキ
わたしのクラスはみんなで十五にん
たいいくんににゅうじょうすると
おおきなはくしゅをしてくれたよ
じぶんできめたみずいろの
かわいいアリエルのランドセルをせおつて
わくわくドキドキ
「ふじいめいさん。」
「はいっ。」
「げんきよくへんじができるよ
よかったです。
これからみんなでげんきなクラスに
みんなよろしくね

にゅうがくしき

市川町立鶴居小学校
藤井結愛 1年



「わたしの手」
丹波市立吉見小学校 6年 岩見 莉緒菜

ふわふわたあめうかんでる
いろんな色の画用紙がある
始めは黒色
またまたその次はおれんじ色
いろんな色があつて
とってもおしゃれ

終刊のことば

『ひょうごこどもの詩と絵』は、「ひょうご2024 こどもの詩と絵」第45集をもちまして終刊いたしました。

1979年の国際児童年とひょうご芸術文化センターの設立を記念して発刊を始め、第1集は「ひょうごのこども詩集」でしたが、第2集より「ひょうごこどもの詩と絵」として企画編集し、第45集まで発刊することができました。

一枚の紙の中で、心のスイッチを入れ表現した子どもたち、その子どもたちに寄り添い、励ましてくださった教職員の皆さん、そして作品集としてまとめるため選考・監修いただいた皆さんに心より感謝申し上げます。

終刊となりますが、今後も子どもたちの自由でやかな感性が、多くの方の心のひだにふれることを願っています。



「湯村温泉観光案内図」
新温泉町立夢が丘中学校 2年 田中 梨乃

空

川西市立桜ヶ丘小学校 3年
重田 明奏里